

防犯

守ろう

自分たちで

合同集団下校訓練

元町小学校、元町北小学校、明園小学校、開成小学校の4校合同の集団下校訓練が今年6月に初めて行われました。

これは児童の安全向上と、学校と地域、学校間、地域間の結びつきの強化を目的としたもので、町内会やPTAも協力し、腕章を着用して路上に立ち、児童の下校を見守りました。

学校と地域が連携・協力して子どもたちを守ります。



子どもたちが狙われる犯罪、振り込め詐欺、路上強盗・・・不安な事件が後を絶ちません。そんな中、「自分たちの地域は自分たちで守ろう」と、地域の防犯意識が高まり、町内会の防犯関係部、学校、企業などが、警察などと連携してさまざまな活動に取り組んでいます。

防犯パトロール

町内会の防犯関係部などが中心となって、パトロール隊などを結成して、地域の巡回を行っています。

青色回転灯を装備した車両で巡回を行う地域や、おそろいのジャンパーや腕章を着用したり、自転車のかごなどに「安全パトロール」のプレートをつけたりして巡回を行う地域など、さまざまな方法で行われています。



丘珠地区防犯パトロール隊
青色回転灯の車両で巡回



栄東地区「まもろー隊」

子ども110番の家

危険を感じた子どもがすぐに逃げ込める場所「子ども110番の家」。コンビニエンスストアなど業界団体のほか、町内会などで個人宅を避難場所としており、店舗や住宅の入り口などにステッカーを張って周知しています。東区にはおよそ3,200軒あります。

建設会社の業界団体「札幌建栄会けんえいかい」も今年から参加（左写真）。会社のほか工事現場の事務所やトラックにも「子ども110番」のステッカーを張り、周知や地域巡回をしています。安田謙一けんいち会長は「不安な時代に少しでも地域に貢献できれば」と話していました。



みんなが安心して暮らせるまちに



地震、大雨、台風などの自然災害、子どもや高齢者など弱者を狙う犯罪、一瞬で命を奪ってしまう交通事故・・・近年、このような災害、事件、事故が各地で頻発に起こっています。東区では、皆さんが安心して安全に暮らせるまちを目指して、東区「安心安全なまち」連絡協議会を中心に、各地域や団体などがさまざまな取り組みを行っています。

